



墨田支部の集団健診の様子

墨田支部では、「組合員と家族の命と健康を守る運動」として、区内の小学校を3校借りて支部集団健診を行なっています。受診の定着をはかるため、毎年6月第2日曜日に固定して開催しています。今年は585人の参加。支

### 墨田 健診に585人 若手家族の受診増加

【本部社会保険対策部発】組合では、東京土建国保にご加入の皆さんに土建健診・個別健康サポート（特定保健指導）の受診・利用を呼びかけています。日本人の死亡原因（15歳

部の組合員・家族が参加する催しとしては最大のものです。「平日は仕事が忙しくてなかなか受診出来ない」「日曜日の開催で午前中に終わる」「近くの小学校で受診出来る」「家族で受けられる」というメリットが受診率の向上に結びついています。ここ数年では、40歳以下の若い組合員と家族が一緒に受診する傾向が増えました。また、野丁場などの現場では健診結果の提出が必須となっていて、仲間の健康に対する意識も高まっています。

## 土建健診・個別健康サポートのススメ

手遅れにならないためには 早期発見・早期治療が決め手

から74歳）では、悪性新生物（がん）、心疾患、脳血管疾患が約6割を占めています。こうした病気のことを「生活習慣病」といいます。生活習慣病の主な原因は、早期には自覚症状が少なく、気づいた時にはすでに進行していることが少なくありません。病気を早期に発見・治療し、命を守るためには、定期的な健康診断を受けることが大切です。

### 受診券使用で健診が無料に

東京土建国保の保険証に添付された受診券を使うと、集団健診や契約健診機関での基本健診が無料で受けられ、がん検査なども低負担で受診することが出来ます。

また、健診結果によって「肥満リスク」があり、かつ「血圧」「血糖」「脂質」

個別健康サポートは、対象となった方が専門家と一緒に計画を立て、無理なく生活習慣改善を進めていくプログラムで、利用料は無料です。個別健康サポートを利用し、終了した方には、国保組合から3000円のクオカードがプレゼントされます。病気になる前に健康を回復する「チャンス」です。ぜひ積極的な利用を行なしましょう。

## 公契約 人口比の20%に拡大 19年統一地方選控え好機

【本部賃金対策部発】日野市での条例制定（3月）を受け、都内8自治体、人口比で19.15%まで広がりました。いまや5人に1人が条例制定下で暮らすまでになっていきます。先頃行なわれた中野区長選挙では公契約条例を掲げた酒井直人さんが当選しました。新たな展開が期待される

「条例制定も視野にいれて調

北、杉並、西東京でも 2月には北区議会が公明党が「建設労働単価確保条例に

### 公契約条例制定自治体と住民数

Table with 3 columns: 自治体名, 制定年月, 住民数(人). Includes a summary row for 東京都 with a 19.15% ratio.

### 建設産業変革の大きな一歩に

条例制定自治体では明らかに変化が生まれています。世田谷区は産業振興計画（20

18〜2021年度を策定。全都的には画期的な「建設業振興」を盛り込み、すでに小零細事業者への若者就労支援などが始まっています。

## 先頭に立つのは労組 多摩西北協 発足1年で学習

6月19日、全建総連東京都連多摩西北協議会（以下



日野市での経験を語る三角さん

テーマの「地域産業の要である、地域の建設業界をまとめる」には、やはり私たち労働組合が先頭に立たなければ、と三角さん。1994年の6月議会に「地元建設業の振興を求める請願を提出

の都連傘下7組合で、昨年5月に発足したこの協議会には、東京土建から小平東村山村山和・西多摩・多摩西部の4支部が参加しています。

## 安全大会を全支部で 一人親方の参加を促進

### 一人親方の参加を促進

【本部労働対策部発】全国労働安全週間が7月1〜7日に開催されます。厚労省発文「平成30年度安全週間の実施に伴う協力要請について」では、協力者に労働組合と明記され、支援・協力を依頼するとなっています。「安全大会の実施、安全パトロール等の実施、その他『全国安全週間』にふさわしい行事等を行なう」とも記述されています。安全大会については、今年

加を促し、災害防止活動を周知します。事業所の安全大会にも協力し、組織強化・拡大も視野に入れた取り組みに発展させます。